

会議結果報告書

平成28年8月12日

会議の名称	平成28年度第2回志木市総合戦略会議
開催日時	平成28年8月3日(水) 14時00分～16時24分
開催場所	市役所3階 301会議室
出席委員	為井 俊充委員、持田 直人委員、太田 裕彦委員 金谷 慶國委員、西川 和人委員、木下 良美委員 松浦 優子委員、松永 仁委員、松田 淳委員、 平間 貴久委員 (計10人)
欠席委員	 (計 0人)
説明員職氏名	政策推進課 平間主任 (計 1人)
議 題	1 開会 2 議題 (1) 志木市まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業の提案 について 3 その他 4 閉会
結 果	2議題(1)について会議委員に説明し、質疑応答等を行った。 会議での意見を後日、とりまとめ市へ提案することとなった。
事務局職員	星野政策推進課主任

審議内容の記録（審議経過、結論等）

1 開会

2 議題

- ・平間政策推進課主任から（１）について説明後、内容について質疑応答を行った。

（委員）

今までの施策は単発になってしまっているように思う。事業実施後の結果がどこまで市民に反映したのかを確認していないので、今後事業を提案する際はそのことを念頭に置く必要がある。

（委員）

施策を提案するにあたり、「どのような課題があるのか」、「課題を解決するためには、どのような解決策があるのか」、「解決策は、具体的にどのような直接的な効果があるのか」、「直接的な効果は、どのような波及効果を生むのか」を考えたいので、事業を実施し、PDCAサイクルを循環させていかななくてはならないと考える。

（委員）

産業が盛り上がり、市が活性化するようにしなくてはならない。

（委員）

子育てしながらビジネスをしたいという需要は高いと思うので、市の中で雇用を生み出し、空き家や空き店舗など、事業を営む場所を提供するなど市がバックアップして昼間に市内でも働くことができる仕組みづくりを行ってほしい。

（委員）

まちの中で人が動く仕組みを構築し、志木市が優良なマーケットであることを対外的に発信していくことが必要であると考えている。

（委員）

地元で働ける環境づくりをすることで、定住促進につながるのではないかと。

（委員）

志木市の自然、人・NPO、産業といった、もともと志木市が持っている強みを活かすとともに、民間企業等が参入しやすい環境づくりを行ってほしい。

（委員）

例えば、いろは親水公園に川床を設け、行政にはできないサービスの提供

を行うことにより、より多くの人（市内外）に訪問してもらう効果が期待でき、にぎわい創出にもつながるのではないかと。

（委員）

極力、民間事業者の力を活用し、民間の創意工夫・ノウハウをサービスに反映させていってほしいというのが、この会議の意見ということでしょうか。

（委員）

これからは、官民連携は必須となると考える。うまく連携し、より多くの仕事を創生していただきたい。

（委員）

公園の管理・運営などにも民間の知恵を活用していってほしいということでしょうか。

（委員）

官民が連携し、いいものを創り出してほしい。

3 その他
なし。

4 閉会